

# 第54回みさとシティハーフマラソン 新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

本大会は、日本陸上競技連盟が定める「ロードレース開催についてのガイダンス」に基づいて感染症対策を実施し、感染拡大の防止に取り組んだ競技運営を行います。ランナーの皆様は大会参加にあたり、以下の内容をご了承いただく他、別に定める「申込規約・注意事項」を確認いただいたうえで、お申込みくださいますようお願いいたします。なお、今後の感染状況により、内容に変更が生じる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

## 大会開催の前提条件

- (1)緊急事態宣言・まん延防止等重点措置等において行動制限が課されていないこと。
- (2)埼玉県及び三郷市のガイドライン等によりイベントの開催が可能であること。
- (3)地域の医療のひっ迫状況等について、保健所へ事前に相談を行うこと。
- (4)大会関係者の連絡先を把握し、健康状態の管理体制が整えられていること。

上記は基本的な前提条件であり、開催可否の判断については感染状況や医療のひっ迫状況等のほか、医療関係者や競技関係者等の意見を踏まえ、総合的に判断します。

## 感染症対策【参加ランナー】

### 1. 感染症対策のための誓約事項

本大会にエントリーした場合、次に掲げる事項を了承し、遵守することに同意いただいたものとします。

- (1)本大会の感染症対策や申込規約、注意事項、個人情報の取扱内容について了承します。
- (2)以下に該当する場合は参加を辞退します。
  - ・大会当日に発熱症状(37.5℃以上)が認められる場合や、大会1週間前から記録する「体調管理チェックシート」の項目で当てはまる症状がある場合。
  - ・大会前2週間以内に、新型コロナウイルス感染症の陽性と判断された方との濃厚接触がある場合。
  - ・大会当日の時点で、保健所から濃厚接触者として認められ、定められた健康状態を観察する期間が経過していない場合。
  - ・大会前2週間以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。

(3)本大会終了後、2週間以内に新型コロナウイルス感染症への感染が発覚した場合は、速やかに主催者に報告し、自治体や保健所等の調査及び感染経路の特定に協力します。

## 2. 大会前

---

(1)事前に送付される体調管理チェックシートに基づき、大会1週間前から当日までの体調管理を行ってください。大会当日、チェック表を持参し、提出してください。提出がない場合や虚偽の記載があった場合、大会に参加できません。

(2)65歳以上の方、基礎疾患を有する方は、感染時の重症化のリスクが高いことを認識した上でご参加ください。

(3)新型コロナウイルス接触アプリ「COCOA」の利用を推奨しています。ご自身のスマートフォンにインストールして、陽性者との接触の有無を確認してください。

## 3. 大会当日

---

### (1)スタート前

- ・他の参加者と一定の距離を保ち、マスクの着用(スタート地点への移動や待機中を含む)や会場内に設置しているアルコール消毒液での手指消毒等、感染防止にご協力ください。
- ・更衣スペースでは滞留せず、速やかに行動するようご協力ください。  
※利用状況によって、人数制限等の対応をする場合がございます。参加者は、極力事前に着替えを済ませてから会場にお越しください。

### (2)競技中

- ・唾や痰を極力吐かないでください。
- ・可能な限り、他の参加者との間隔を取ってください。
- ・コース上に給水所を設置しますが、ハイドレーションパック等の装備を推奨します。

### (3)競技終了後

- ・フィニッシュ後は呼吸が整い次第速やかにマスクの着用をお願いいたします。マスクを着用していないときの会話はお控えください。
- ・更衣スペースを含む会場内では滞留せず、速やかに退場するようご協力ください。

## 4. 大会終了後

---

大会終了後2週間を健康観察期間とし、各自で体調管理を行ってください。期間内に新型コロナウイルス感染症に感染した場合は、速やかに主催者に報告してください。

## 感染症対策【競技役員・大会関係者等】

### 1. 大会前

事前に配布する体調管理チェックシートに基づき、大会1週間前から当日までの体調管理を行います。

### 2. 大会当日

- (1)作業前・作業後にアルコール消毒液で手指を消毒します。
- (2)マスクの着用を必須とし、必要に応じてビニール手袋等を着用します。
- (3)業務に従事するにあたって、フィジカルディスタンスを確保します。
- (4)使用した備品類の定期的なアルコール消毒を行います。

### 3. 大会終了後

大会終了後2週間を健康観察期間とし、各自で体調管理を行います。

## 感染疑い者等への対応

### 1. 基本的な対応

- (1)感染症状を自覚した者が発生した場合、感染症対策（マスクの着用等）を実施したうえで帰宅させ、かかりつけの医療機関等に相談するよう促す（以下「基本対応」という）。
- (2)競技役員等は感染疑い症状が見受けられる者が発生した場合、大会本部へ報告し基本対応を行う。
- (3)大会本部は、感染症状自覚者発生との連絡があった場合、基本対応を行うよう指示し、対応内容を記録する。自立歩行が難しい等、基本対応による対処が難しい場合、派遣医師に指示を仰ぎ、担架による搬送や救護車の派遣、救急搬送の要請を検討し適宜対処する。
- (4)参加者及び大会関係者に対して、体調不良を自覚した場合には参加を辞退するよう周知を徹底する。

## 2. 大会会場での対応

---

- (1)検温により 37.5℃以上の発熱が確認された場合、十分な時間を置いて再検温を行う。再検温においても 37.5℃以上の発熱が確認された場合には、基本対応を行う。
- (2)体調管理チェックシートの提出時に、各感染疑い症状の項目に該当する者がいた場合、係員により状況の聞き取りを行い、必要に応じて大会本部へ連絡・相談を行う。チェック欄に記載がなく、健康状態について、各項目に該当することが認められる場合には、大会への参加を認めない。
- (3)競技役員などコース上で従事している係員は、感染症状があるランナーから救護を求められた場合、適切な距離を保ちつつ症状を確認した上で、大会本部に連絡し指示に従う。
- (4)収容車による搬送を実施した場合は、当該車両を消毒する。
- (5)咳や発熱など、感染疑い症状が見受けられる者を収容者に乗せる場合、その者以外の傷病者は搭乗させない。また、対応後は、対応係員が使用していたマスク等の防護用品を交換する。

## 3. 大会終了後の対応

---

- (1)感染者が発生したとの報告を受けた場合、保健所に速やかに連絡し、指示に従う。
- (2)感染者の個人情報、新型コロナウイルス感染症対策にのみ使用し、感染者が差別されることのないよう秘匿する。
- (3)自身が所属する企業及び団体等が定める新型コロナウイルス関係の規定に従い行動するよう促す。
- (4)感染者発生に伴う大会からの情報発信については、開催自治体や保健所等との協議の上、発信の有無や方法について決定する（※参加者各自への連絡は原則実施しない）。

## その他

- (1)観戦・応援をされる際は周りの人との間隔をお取りいただき、大きな声を出すことはお控えください。
- (2)本大会で加入する保険は、新型コロナウイルス感染症の罹患は対象外となります。
- (3)新型コロナウイルス感染症の影響により大会が中止となった場合、参加費は中止を決定した時点までに生じた費用等を勘案し、返金の有無及び返金額を決定します。